

南の風

—第8号—

朝晩の寒さが日に日に増し、いよいよ今年も残りわずかとなりました。病院内はクリスマスの飾りで賑やかになり、楽しいイベントを前に、子どもたちも毎日ワクワクしながら過ごしています。本日で2学期が終わります。家族の時間を大切に、楽しい冬休みをお過ごしください。

今月は、10月に病院と実施した「センター合同避難訓練(中学部)」と、11月に実施しました病院の管理栄養士さんを講師にお招きした「食育講座」の授業の様子をお伝えします。

中学部 センター合同避難訓練

10月15日(火)の午後に、こども医療センターと合同で避難訓練を行いました。

「地震発生」の館内放送後にシェイクアウト(安全確保行動・下図参照)を行い、その後、病院外の広域避難場所へ移動しました。

中学部教室はこころの診療病棟の地下1階に位置し、平時はエレベータか階段を使いますが、この日は非常口から建物外に出て一時避難場所へ向かいました。



道中には傾斜の大きい坂や横断歩道がありますが、安全、かつ速やかに、登校している生徒全員が避難することができました。

また、センター合同避難訓練の数日前には、中学部単独でも避難訓練(シェイクアウト訓練)を行いました。いつもは教室で行っていますが、地震はいつ起こるか分からないため、この日は体育館で実施しました。

準備体操の直後、地震アラート音が鳴ると、生徒たちはその場で瞬時に判断し、身を守る行動をとりました。ある生徒はその場で車いすのブレーキをかけてから頭を守り、別の生徒は頭上にバスケットボールのゴールがあることに気づき、体育館の中央に移動してからしゃがみました。訓練後にはなぜその行動を取ったのか尋ね、クラスの間で共有しました。



災害は起こらないことが一番よいですが、様々な想定で訓練を重ね、「いざ」という時は落ち着いて行動したいと改めて思いました。

小学部中学部 健康教室「食育」

11月13日(水)に小学部1~4年生、11月27日(水)に中学部1~3年生に向けて、こども医療センター管理栄養士の、斎藤美月さんと齊藤柚葉さんをお招きし、「食」について講話をしていただきました。

小学部では、栄養バランスを学んだり、実際に使用している大きな鍋やしゃもじを触る体験をしたり、給食が手元に届くまでの様子を動画で観たりしました。また、給食のリクエストの想像も楽しく、カルボナーラやお寿司の声があがりました。たくさんの方々が関わって、給食が作られ、支えてもらっている事を知ることができ、心温まる時間となりました。

中学部では味覚について詳しく教えていただきました。栄養士さんの知床の旅から始まる、昆布の旨味の話や、人間が味を感じ分けられるようになったルーツ、味覚も成長する話など、生徒たちも興味深く聞くことができました。講話後の感想では、いつもあたりまえに食べている食事に関心を持たれたことや、献立を一生懸命考えてくださる栄養士さんへの感謝の気持ちがたくさん出ていました。



生きる事に欠かせない「食」について改めて大切にしたいと思える時間となりました。

1月 行事予定

- 8日(水) 始業式(10:50 体育館)
- 17日(金) 重心部門・授業参観
- 20日(月) 小学部2組中学部本館病棟授業参観
- ~24日(金)
- 24日(金) 午前:中学部授業参観
午後:小学部1組授業参観
- 29日(水) 小学部6校時授業

